

商工 かがわ

The Kakogawa Chamber of Commerce and Industry



特集 年男・年女に聞く ～今年の抱負～



<https://kakogawa-cci.or.jp/>

■年頭のごあいさつ
「地域・企業の持続的な発展のために」
加古川商工会議所 会頭 釜谷 和明

■エッセイ
大山環境整備自動車(名)
代表社員 松野 剛さん

もくじ



今月の表紙
『大村呉服店』

事業所データ

◆代表者

大村 昌宏

◆所在地

加古川市加古川町篠原町21-8
カピル21 2F

◆電話

079-422-5191

◆表紙写真

- ①店舗はヤマトヤシキ2階、エスカレーターを上がってすぐ右手に代表の大村昌宏さん(右)、息子の慎太郎さん(左)
- ②訪問着、付け下げも色々な柄を扱っています
- ③お宮参り用の晴れ着もあります
- ④⑦着物だけでなく、和装小物も多数取り揃えています
- ⑤⑥着物に関することはお気軽にご相談ください!
- ⑧老若男女に人気の手作り半纏(はんてん)

1 年頭のごあいさつ 加古川商工会議所 会頭 釜谷 和明

2 新年ごあいさつ 加古川市長 岡田 康裕

4 特集 年男・年女に聞く ～今年の抱負～

9 エッセイ 「縁起」
大山環境整備自動車(名)
代表社員 松野 剛 さん

11 会議所のうごき 紅葉の大江・宇治を満喫
- 会員交流バス旅行を開催 - 他

13 団体だより 異業種交流会・環境保全研究会・青年部・女性会

15 謹賀新年名刺広告

20 会議所からのお知らせ 年末調整のお手伝い 他

20 会議所カレンダー 「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



今月の表紙にご登場いただいた大村呉服店は、代表の大村昌宏さんの父(一雄さん)が約70年前に自宅を店舗として事業をスタートし、昌宏さんも高校卒業後から手伝うようになりました。その後は駅前市場前に出店。そこつ・ヤマトヤシキへと店舗を移しながらも、親子三代にわたって一貫して着物や和装小物を扱っています。その長い歴史の中で、昌宏さんは「まじめにコツコツと丁寧な仕事」を信条に、多くのお客様からの信頼を築いてきました。

しかし、時代の流れとともに、かつては数多くあった呉服店も減少し、着物離れが進む中で変化を余儀なくされました。それでも伝統を大切にしながら、お客様のニーズに合わせる努力を続けています。例えば、着物や反物だけでなく、和装小物や肌着、寝間着などの衣類・着物雑貨を積極的に展開し、呉服店としての枠を超えた親しみやすさを提供しています。

特に大村呉服店が仕入でこだわっていることは、日本製商品の取り扱いです。この寒い季節には「久留米の手作り半纏(はんてん)」が人気。中綿が入っているので、暖かく着心地も良いこの商品は、老若男女を問わず支持されています。また、昔ながらの呉服文化も大切にしており、母親や祖母から受け継いだ着物を活用する提案も行っています。さらに、お宮参りの熨斗目(祝着・のしめ)を七五三の着物へ仕立て直しなど、お客様の大切な思い出に寄り添うサービスも特徴です。

地域密着型の呉服店として、「お客様に求められるモノを置く」という姿勢は、大村呉服店の魅力そのものです。着物や和装小物についての相談はもちろん、普段使いの衣類や雑貨を求めて立ち寄る方もおられます。経営者や従業員の皆さま、着物や和装小物に関するご相談やお探しの商品がございましたら、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



年頭のごあいさつ

「地域・企業の持続的な発展のために」

加古川商工会議所

会頭 釜谷 和明

令和7年の新春を迎え、皆様に謹んでごあいさつを申し上げます。

旧年中は、商工会議所の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、元日の能登半島地震、翌日の羽田空港地上衝突事故と年明けから暗いニュースで幕開けしましたが、記録的な猛暑日が続いた暑い夏を過ぎると、秋涼を楽しむ間もなく、衆議院解散総選挙や知事失職に伴う兵庫県知事選挙などで年末まで慌ただしく過ぎていった1年でした。

日本経済はコロナ禍からの本格的な回復期にあたり、日常生活の正常化とともに経済活動も活発化、景気も順調に経過しています。しかしながら、ウクライナや中東をはじめ世界情勢は非常に不安定な状況で、その影響が全世界に波及、エネルギー資源や穀物等の供給停滞から光熱費・食料品・原材料価格の高騰へと連鎖し、企業経営や市民生活に大打撃を与えています。

この厳しい状況下で、さらに急激な円安進行と物価高、賃上げ対応、カーボンニュートラルや人材不足への取組みなど様々な経営課題が山積しており、企業は近年まれに見る経営上の難局に直面しています。政府による緊急的な経営支援等が求められるほか、支援機関として商工会議所の果たすべき役割も益々重要となってきます。

当商工会議所としましても、加古川市や東播磨地域の持続的な発展と地域企業の事業継続のため、伴走型支援や継続的な相談体制のさらなる強化を図ります。関係機関とも連携を図り、公的支援策の活用や情報提供、中小企業の経営環境の整備・改善、経営革新、資金調達や人材確保などあらゆるご相談に応じ、会員の皆様に寄り添う「無くてはならない窓口」として、これまで以上にきめ細かい対応を行いたいと考えております。

当地域では、続々とインフラ整備工事が進められています。本年には東播磨道が全線開通の予定、国道2号加古川橋架替や神吉中津線新橋梁は工事中でまだ数年かかりますが、播磨臨海地域道路も都市計画決定に向け着々と手続きが進められており、国内有数の生産高を誇る播磨地域にふさわしい道路網が実現することが期待されています。また、本年開催の大阪・関西万博は、人やモノ、情報が関西に集まる絶好の機会であり、当地への好影響も期待されます。

かわまちづくり計画や加古川駅周辺再整備事業に取り組む加古川市や（一社）加古川観光協会と連携を図り、中心市街地に賑わいを取り戻すため、当商工ビルもさらに大勢の人々が集う交流拠点となって貢献できるよう、様々な試みを検討してまいります。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸、本年が皆様にとって「復活と再生の年」となりますようご祈念申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



新年ごあいさつ

加古川市長
岡田 康裕

新年、あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を、ご健勝にてお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

加古川商工会議所会員の皆様には、平素より加古川市政、とりわけ商工業の振興に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去年は元日から能登半島地震が発生し、大変な一年の始まりとなりました。また、社会経済情勢に目を向けますと、物価の高騰や賃金の上昇、働き方改革への対応など、依然として厳しい経営環境が続いていることと思います。

こうした状況の中、本市におきましては、令和4年度から開始した民間団体の皆さんによるJR加古川駅周辺でのイベント開催支援を継続するとともに、昨年11月からは、駅南広場に景観の向上を目的とした社会実験として、人工芝の設置と産官学連携によるストリートファニチャーの配置を行い、親子連れやカップル、学生など、多くの皆さんが公共空間での滞在を楽しまれていました。また、令和5年度に制度を大きく拡充した空き店舗等活用支援事業補助金も、多くの事業者の皆様にご活用をいただいています。このように、本市では、将来のJR加古川駅前の再々整備に向け、駅周辺が「居心地が良く歩きたくなるエリア」となるよう、人中心の空間づくりと賑わいの創出に向けた取組を積極的に進めています。また、これらの取組との相乗効果を生み出すことができるよう、本市の観光施策の方向性を示す「加古川市観光まちづくりプラン」についても、令和7年3月の策定に向けた検討を進めているところです。

今後も、事業者の皆様が未来を見据えた取組に挑戦していただけるよう、引き続き様々な支援や経済活性化に資する施策を進めてまいります。国内外の社会経済情勢の変化は速く、先を予測することが困難な時代ではございますが、本市が目指す「夢と希望を描き幸せを実感できるまち 加古川」を実現するためには、市内事業者の皆様のご協力が不可欠です。事業者の皆様の挑戦、そして、そのエネルギーが加古川市の未来を形作る原動力となることを期待しています。

本年も、加古川商工会議所をはじめ関係機関と連携を図りながら、商工業の振興に全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様の益々のご活躍と本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。



48歳

福本精肉店 代表
ふくもと しんや
福本 真也 さん

加古川市志方町横大路166

TEL: 079-452-0385

1977年生まれ この年の出来事

○東京外為市場、1ドル=240円で取引終了
○王貞治選手ホームラン世界記録756号を達成
○インド・ガンジー政権倒れる
○スーパーカーブーム、ジョギングブーム、草野球ブーム、カラオケブームなど

今から50年ほど前、父が精肉加工業として加古川で創業しました。現在は拠点を三木に移し、百貨店などへ卸す加工場とその隣に焼肉店「お多福」を構えています。

私自身は高校を卒業後、神戸で修行を積む予定でしたが阪神淡路大震災の影響で受け入れ先が無くなり、家業を手伝うことになりました。それから30年以上、事業に携わっています。その間には、狂牛病やO-157の問題など困難な時期も経験しました。それでも、お客様からの「美味しかった」、「ごちそうさまでした」という言葉に励まされ頑張り続けることができました。

ここ最近では、正直なところ「厳しい時代」だと感じる事が多いです。コロナ禍以降少しずつお客様が戻ってきてくださっていますが、物価高に加えて、為替の影響で外国産のお肉が値上がりする中、高級なブランド牛は海外への輸出が増加し国内の流通量が少なくなり高価になっています。それでも、ありがたいことに家族連れのお客様が増え、何代にもわたってご愛顧いただいている方もいらっしゃいますので、地域の皆さんに長く愛される店舗であり続けたいと強く思うようになりました。今後は、補助金などを積極的に活用し機材を導入するなどして、厳しい時代に対応していきたいと考えています。

個人的なことでは、商工会議所の青年部を卒業してからはお酒を飲む機会が減り以前よりアルコールに弱くなった気がします(笑)。その代わりに、ゴルフの打ちっぱなしで健康的に汗を流す時間が増えました。仕事を続ける上では身体が資本ですので、健康にはこれからも十分気をつけながら、精一杯頑張っていきたいと思っています。



年男・年女に聞く

～今年の抱負～

新年あけましておめでとうございます。

令和7年は巳年。今年「年男・年女」にあたる巳年生まれの

会員の方々に、各年代を代表して今年の抱負等を語っていただきました。



60歳

cafe marche MAMAN代表
はやし ともこ
林 智子 さん

加古川市尾上町養田425-1

HP: <http://cafe-maman.sakura.ne.jp/>

1965年生まれ この年の出来事

○いざなぎ景気始まる ○日韓条約の成立
○ソ連、人類初の宇宙遊泳 ○アイビー・スタイルが高校生から大学生の間に流行
○ニッカウヰスキーが「ブラックニッカ」を発売し、大ヒット

お店を始めてから、もう9年近く経ちます。もともとは会社勤めで、その際に飲食部門の運営を任されていた。その経験やノウハウを生かして何かしたいと思い、開業を決意しました。実は開業準備中に体調を崩してしまい、しばらく入院生活を送ることになったのですが、仕入れ先を探したり、原価計算をしたりと計画を練る日々集中していると時間があっという間に過ぎていきました。退院したその日に今のお店の物件を契約したのは、今でもいい思い出です。

お店の名前の「MAMAN(ママン)」はフランス語で「お母さん」という意味です。家でご飯を食べているような温かい雰囲気を感じていただければと思い、この名前にしました。小さな店舗ですので私ひとりで切り盛りしています。ランチタイムは昼休みを利用して来られるお客様も多いので、なるべく早く料理をお出しできるような心がけています。また混雑時には、常連のお客様が食器を片付けてくださるなど、本当に助けられることが多く、感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年を振り返ると、夫が事業主として鉄鋼・溶接関係の工場を新しく立ち上げましたので、カフェの営業が終わった後に夫の仕事を手伝うことも多く、慌ただしい日々を送っていました。一方で、コロナ禍に始めたゴルフは、週2回ゴルフ場に通うほど楽しんでいましたが、今は夫も仕事が忙しくなり、月に1回程度に落ち着きました。今年は、気の合う人たちとゴルフを楽しみながら、日常を忘れるひとときを持つと思っています。

年女という節目を迎えた今年ですが、仕事や家庭、趣味など、どの面でも充実した日々を過ごしていることに感謝しています。そのため、私の場合は新たなチャレンジをするというよりも、忙しい日々そのものが活力や元気の源になっており、これからも「楽しく・忙しく」をモットーに、毎日を過ごしていきたいと思っています。



36歳

(株)MOJYU 代表取締役
もりもと あきよし
森本 章義 さん

加古川市東神吉町西井ノ口375-1 パルスビル2F

TEL: 079-490-3791

1989年生まれ この年の出来事

○昭和天皇が崩御 『平成』の時代へ ○中国で天安門事件が発生 ○ベルリンの壁が崩壊 ○消費税法が施行、消費税スタート ○金宝飾品、皮革、ワインなどで空前のイタリアンブーム

私どものメイン事業は、宅配ボックスや郵便ポストの卸売です。ただし、デザインは100%自社で行っており、他社にはないオリジナリティや豊富なバリエーションを特徴とするエクステリア・インテリア商品を提供しています。

開業したのは2021年で、コロナ禍の真っ只中でした。ネット通販やデリバリーサービスの普及によって「非接触」が求められる時代となり、置き配や宅配ポストが注目され始めたタイミングでしたので、市場環境に支えられ順調に事業をスタートすることができました。

主なお客様はネット販売業者、雑貨店、家具店、ホームセンター等のため、エンドユーザーの声を直接聞く機会は少ないのですが、ネットショップでのレビューを通じて「外に置く商品なので、デザインが多くて自分の好みに合ったものを探るのが嬉しい」、「組み立てが簡単で良かった」といった感想をいただき励みになっています。

昨年の9月には初めて展示会にも出展しました。振り返ってみると、これが大きなターニングポイントだったと感じます。それまで、カタログやホームページを通じて取引を頂くケースが多かったのですが、展示会では実際に商品を目で見ていただき、色合いや質感などの特徴が高く評価され新規のお取引に繋がる結果となりました。

おかげさまで忙しい日々を送っていますが、その分、趣味で定期的に友人と楽しんでいたフットサルができなくなってしまったのは少し残念です。今年は新たなエクステリア商品の拡充を考えています。具体的には、小型の物置(倉庫)のデザインを考えていて、既存の大きな物置を補完する「2つ目」としての用途や、マンションやアパートのベランダにも置けるサイズ感の製品を企画しています。今年は仕事が落ち着いてきたら、仕事とプライベートの両立も目指していきたいと思っています。

【巳年（2025年）はこんな年】

干支の組み合わせ（十干と十二支の組み合わせ）は60通りあり、これを六十干支と呼びます。60年で干支が一回りすることから、60歳になることを「還暦」と呼びます。今年、2025年は「十干 十二支（じっかんじゅうにし）」でいうと、42番目にあたる「乙巳（きのとみ）」です。

過去の乙巳の年には、乙巳の変（中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌足（後の藤原鎌足）らが蘇我入鹿を暗殺した事件）や、いざなぎ景気（1965年11月から1970年7月にかけて、計57か月間続いた好景気）が始まったり等、大きな社会変化も起きました。2025年は関西・大阪万博等が予定されており、経済的にも成長の年になると期待が高まります。

さて、ヘビという少し怖いイメージもありますが、一方で“金運アップの象徴”としてヘビが脱皮した抜け殻やヘビのアイテムを財布に入れたり、ヘビ柄の財布も金運アイテムとして知られています。

ヘビが金運と結びついているのは、古代インドでは白蛇が金運をつかさどる弁財天の使いと言い伝わっているからです。さらに、脱皮を繰り返すヘビは、生命力や再生の象徴とも考えられ、金運のみならず繁栄や成長に例えられる縁起の良い動物とされています。



【ヘビにまつわることわざや慣用句】

【龍頭蛇尾／りゅうとうだび】

頭が竜のようで、尾が蛇のようであること。初めは勢いが盛んであるが、終わりのほうになるにしたがって、ふるわなくなることをたとえ。

【蛇の道は蛇／じゃのみちはへび】

同類の者は互いにその社会、またその方面のことに通じているということのたとえ。

【藪をつついて蛇を出す／やぶをつついてへびをだす】

よけいなことをして、かえって自分にとって悪い結果を招くこと。藪蛇（やぶへび）と略して使われることも。

【蛇足／だそく】

蛇の絵を早く描く競争で、最初に描いた者が足まで描いて負けたという「戦国策-斉策上」の故事からよけいなもの。なくてもよい無駄なもの。



(株)スノーラ 代表取締役
すやり たかやす
須倉 孝康 さん

加古川市平岡町二俣905-81
TEL: 079-435-1710

1953年生まれ この年の出来事

○吉田首相の「バカヤロー」発言と衆議院解散
○奄美諸島返還 ○社用族・公用族を中心にドライブブーム
○テレビ初の高校野球中継「第35回全国高校野球大会」を中継

1979年、私はまだサラリーマンでした。先代社長の父と共にその年に人工降雪機『SNO-LA』を自社開発し、そのデビュー戦でクリスマスイヴにハワイのホノルル動物園前で雪を降らせる演出を実現しました。この模様は当時、米国のニュースで取り上げられ大きな話題となりました。以降、各地の人工雪イベントやCM、工業製品のテストなどさまざまな用途で活用いただいています。最近ではファミリー向けのテーマパークや夏フェスなどのイベントにも採用され、大人から子供まで幅広い世代に喜んでもらっています。

コロナ禍ではイベント自体が無くなり、売上が一時は8割減になるほど厳しい状況を経験しました。売上の減少も深刻でしたが、当時一番怖かったのはお客様に「忘れられてしまうこと」でした。しかし、コロナウイルスの感染症分類が5類に移行すると、以前からの取引先やお客様から少しずつ依頼が戻り、そのありがたさを改めて実感しました。

こうした時代の流れを経て自分自身の価値観も変化し、「目に見えるもの」から「目に見えないもの」をより大切にするようになりました。仕事では、クライアントや一般のお客様が喜んでくれることが何よりのやりがいです。また、趣味で始めたケーキ作りは10年以上続いており、特に季節の果物を使ったショートケーキが得意です。従業員の記念日や誕生日に手作りのケーキをプレゼントすると大変喜んでもらえるので、同じくらい私も嬉しく思います。

年齢を重ねるにつれ病気やケガを経験することもありましたが、幸い完治したものも多く、健康のありがたさを日々感じています。今年は過去に登ったことのある「白山」への再挑戦や、サーキット走行会への参加を個人的な目標にしています。仕事面では、昔は人工雪にコンプレックスを抱いていたこともありましたが、しかし今では、青空に舞う人工雪の幻想的な美しさを多くの人に知ってもらいたいと思っています。今年はさらにグレードアップした人工雪を提供し、多くの方に楽しんでもらいたいです。



一陽美容室 店主
ふじもと ようこ
藤本 陽子 さん

加古川市加古川町北在家2498
TEL: 079-423-0624

1941年生まれ この年の出来事

○国民学校令により、全国の小学校が国民学校と改称される
○真珠湾攻撃、米、英、蘭、中国が日本に宣戦布告
○戦艦大和の竣工
○セントライトが日本競馬史上初の三冠馬に

私は高校卒業後、OLとして働いていましたが当時の時代の流れもあって、20代半ばで退社しました。その後、実家が美容業を営んでいたこと（現在では親戚も含め、実家の家族全員が美容業に携わっています）や、これからの女性は手に職をつけて働く時代になると考え、美容専門学校へ入学しました。その学校を卒業する際に校長先生から贈られた「美容師の“師”は医師の“師”と同じ名称で同格の価値があります。プライドをしっかりと持ち、勉強し、国家資格という免許を取得して、一般社会からも認められる素晴らしい美容師になりなさい」というエールは、私が働く上での道標になりました。また、結婚式で花嫁さんのお支度をさせて頂いている母の凛とした姿や、一つ紋の着物の上に真っ白な割烹着姿がとても印象的で「美容師ってなんて立派な仕事なんだろう」と心に深く刻まれています。

そんな思いで開業した「一陽美容室」という名前は、「一陽来復」という言葉に由来しています。この言葉には、「悪いことが続いたあとには幸運が訪れる」という意味があります。私はこれまでの人生で辛いことや嬉しいことをたくさん経験してきましたが、巳年生まれということもあり、そのたびに「脱皮」して新しい自分になれてきたと思っています。それもお客様、スタッフ、家族、そして地域の皆様のおかげです。

あるとき、お客様から「陽子ちゃんがお店で頑張っているから私も元気に頑張ろうと思うわ」と声をかけていただいたことがありました。その一言がとても嬉しくて、美容師には定年がないことを改めて感じ、「体が動く限り生涯現役で頑張ろう」と決意しました。私にとっての健康の秘訣は、やっぱり仕事を続けていることです。それに加えて、加古川市が行っている「いきいき100歳体操」もオススメです。週に1回、1時間程度ですが近所の方々とおしゃべりしながら体を動かせるので、とてもリフレッシュになります。

これからもたくさんの方々への感謝を忘れず、次の世代を担う若い人たちの育成にも力を入れていきたいと思っています。

「縁起」

大山環境整備自動車(名) 代表社員 松野 剛



住 所: 加古川市平荘町上原559番地の1
T E L: 079-428-1743
営業内容: 産業廃棄物処理、一般廃棄物処理、
運送業、エンタメ事業

大山環境整備自動車合名会
社の代表社員の松野と申しま
す。

本業は産業廃棄物・一般廃
棄物収集運搬業・トラック事
業・エンタメ事業等を生業と
しています。そして青少年育
成の一助となる活動として、
金剛禅総本山少林寺「少林寺
拳法」の師範をしております。
先代の先生から道院を継承し
約10年が過ぎました。
そこで、お釈迦様の悟り「縁
起の法」を少しお話させて頂
きます。

この世に存在するすべて

の事柄は「因(それ自体)」と「縁
(因の援助作用)」によって成立して
いる(因縁生起)。そして「果(〜と
なる)」は、種をまいても作用がなけ
れば実がならず、この援助作用である
縁のはたらきによって果となる”

人の縁を例えるなら、この世に生を
受けて死に至るまで、縁の作用で人は
自己変革できるのです。善因善果・悪
因悪果・自因自果もありますが、一分
一秒と人は常に変化しています。その
変化の作用に縁が存在し、縁の作用を
自己にどう変革させるかは、自分次第
なのです。

また、諸行無常(すべてのものは移
りゆく)、一切皆苦(肉体と精神が過
去から未来につながっていく変化を受
け入れること)、諸法無我(すべての
ものは絶対不変ではなく相対的であ
る)、これに涅槃寂静(実相に目覚め、
縁起の法を行動原理として、すべての
苦悩から脱する境地)を加えた「四法
印」が仏教で重要な教義とされており、
“無常なるものは苦なり 苦なるものは
無我なり”と説かれています。

実体験にはなりますが、若年時代、
素行は悪かったと思います。少林寺拳
法を辞めた時期もありました。辞めた

自分が道場に遊びにいつても、嫌な顔
をせず迎え入れてくれた師匠たち。そ
して、練習終わりにご飯に連れて行っ
てもらおうという何気ない事でしたが、
このような事柄が徐々に自分自身を変
革して、今や師範までしている事実。
親は自分が拳士達に先生と呼ばれるの
を聞いて「あんたが先生になるなんか
微塵も思っただけだったわ」とよく笑い
ながら言っていますね。

こんな自分でも自己変革出来るなら、
ゴールデンエイジの子供達は無限の可
能性がある。そんな子供達や一般拳士
達の居場所であるこの道場を糧にして
もらい、自分が住むこの町に沢山の思
い出が心に宿るような種子「因」を蒔
き、「縁」の作用で、さまざまな綺麗
な花「果」を心にいっぱい咲かせてほ
しいですね。

この「縁起」が本業、ひいては青少
年の育成や人々の一助、そして住む町
への恩返しに繋がればいいなあと思
っております。見た目は怖いかもしれ
ませんが、何処かでお逢いできる事を
楽しみにしております。ご縁がありま
すように。

追記…拳士募集中です！体験お待ちし
おります！

紅葉の天津・宇治を満喫

―会員交流バス旅行を開催―

11月17日・18日に会員交流バス旅行を開催し、両日合わせて19名の参加者が天津・宇治方面へ向かいました。

最初に訪れた石山寺では、大河ドラマ『光る君へ』のドラマ館で衣装などの展示を見学の後、珪灰石で有名な境内を散策しました。紅葉を眺め、さわやかな空気を味わいながら、本堂への石段を登りました。

昼食は「びわ湖大津館」で季節の食材を使ったフレンチコースを堪能し、午後からは宇治方面へと移動。



平等院鳳凰堂を眺める参加者

平等院鳳凰堂とミュージアム鳳翔館を拝観し、世界遺産の荘厳で美しい姿に圧倒されました。

最後にJR宇治駅前周辺を散策し、老舗茶房で抹茶やスイーツを味わったり、お土産品を買ったりと、思い思いの時間を過ごすことができました。

企業・従業員・顧客を守る対応を

―カスタマーハラスメント対策セミナーを開催―

11月29日、日本アンガーマネジメント協会公認講師の藤城美幸氏による制度改正等の課題解決環境整備事業「カスタマーハラスメント対策セミナー」を行いました。

近年増加している「カスハラ」によって深刻な被害も起きており、企業・従業員・顧客を守るために正しい対策が必要です。正当なクレームとの違いを理解し、一歩先の顧客対応を行うためのクレーム処理や接客のポイントの説明がありました。対応は組織として行うことが重要であることや、相手の意見を尊重しながら自分の意見や要望を伝えることの重要性についても解説がありました。実際の対処フレーズの例もいくつか紹介され、参加者からは「現場で活用できそうだ」といった声が聞かれました。



被害者にも加害者にもならないために

参加者は23名

徹底的な見直しを

―就業規則セミナーを開催―

12月6日、横浜リネージュ社労士事務所代表で特定社会保険労務士の蔵中一浩氏を講師に、制度改正等の課題解決環境整備事業「就業規則の徹底見直しセミナー」を開催しました。

会社の憲法的存在である就業規則の改正すべき点や不足している点について、規律・労働時間・福利厚生等様々な面から解説がありました。必ず定めて記載すべき絶対的記載事項と定めをした場合には必ず記載すべき相対的記載事項、それ以外の任意的記載事項の具体例とそのひとつひとつの詳細について丁寧に示されました。また、令和3年度以降の主な法改正の概要、その上で見直すべき点の解説がありました。参加者からは「具体例があり参考になった」との感想が寄せられました。



詳細な資料を基に解説

参加者は19名

対策はお済みですか？

―サイバーセキュリティセミナーを開催―

12月10日、兵庫県警察サイバーセンターサイバー企画課と合同でサイバーセキュリティセミナーを開催しました。

第1部はサイバーセキュリティ捜査・高度化センターサイバー企画課より「サイバー空間をめぐる脅威の現状」について、第2部はサイバー攻撃対策隊より「サイバー攻撃情勢について」の解説がありました。

第3部は神戸大学大学院名誉教授の森井昌克氏より「まずはこれだけやれば十分！サイバーセキュリティ対策、問題は本当にできるのか？」として、被害に遭う中小企業が増えている中でも基本的な対策を取っていない企業が多く、まずは自社の状況をきっちり把握することが大切だと説明がありました。基本的なセキュリティ意識を持ち、基本的な対策を行うことが一番重要です。



講演される森井氏

参加者は31名

◆ 団 体 だ よ り ◆

異業種交流会

フィリピンを視察

― 海外視察研修会を実施 ―

毎年恒例の海外視察研修に11月14日から17日、経済発展著しいフィリピンのマニラとセブ島へ1人で行ってきました。同国は若くして結婚や出産をし、平均寿命も65歳と比較的若い国です。平均月収は10万円くらいですが、大家族で働くため世帯収入は多く、フードショップでは爆買いが多くみられました。また外食のラーメンは一杯1000円くらい、ガソリンは150円/ℓと日本並み。仕事で30年前に工場進出した時は賃金が15分の1だったのが今は2分の1と、フィリピンがめざましい経済成長を遂げていることが分かりました。

初日は前野技研を視察。フィリピン カビテ州 輸出 優遇の工業団地で創業し、社長は2代目になります。製缶・溶接・機械加工な



前野技研にて

どを行い、顧客はほぼ日本企業で、人材育成と雇用の定着に知恵を絞っています。創業者の父からの教えである「損になる会社はお客様ではない、儲けさせていただけれる会社がお客様」の姿勢を崩さず、日本並みの品質で継続的取引を成立させています。

3日目はセブ島を視察。観光都市として知られ、工業団地をはじめ空港・リゾート施設などがあり、日本のODAが入っています。

食事やカジノ、ブランドショップを併設したリゾートホテルでは、東京ドーム10個分の大きさのショッピングモール（映画館・ボウリング場など総店舗数1000以上）も視察。充実したホテルライフを満喫しました。かなり体力を消耗し、全身オイルマッサージをうけ、帰国に備えました。

大きなトラブルもなく、帰国しようとしたところ、まさか台風で欠航することになるうとは…。JT Bさんの匠の手腕で翌日には帰国でき、このおかげで検証できたのが、社長がいなくても会社が回る仕組みを形成できているか、ということでした。

（エイム研究所 矢野弘）

加古川環境保全研究会

カーボンニュートラルを目指して

― 2部会 合同研修会を開催 ―

12月6日（一財）省エネルギーセンター 近畿支部 エネルギー使用合理化専門員の前山二郎氏を講師にエネルギー部会・エコファクトリー部会合同研修会、改正省エネ法のポイントについてのセミナーを開催しました。



省エネ法改正について学ぶ

目標とする2050年カーボンニュートラルの具体的なイメージとその実現のために改正された省エネ法のポイントについて、エネルギー定義の見直し・非化石エネルギーへの転換・電気需要の最適化という3つを挙げて詳しく説明がありました。その後、定期報告書・中期計画書作成についてのポイントや、事業クラス分け評価制度について等の解説があり、最後に省エネ法定期報告情報の開示制度について、そのメリットや開示スケジュール、開示シートイメージなどの詳しい説明がありました。参加者は19名

団体だより

青年部

来年への気合十分に

「近畿ブロック大会江州よかいち大会へ参加」

11月1日・2日、滋賀県東近江市で開催された近畿ブロック大会「江州よかいち大会」に36名が参加しました。この大会は、近畿7府県連・51の単会が一堂に会する大きな事業になります。宮崎謙介氏の記念講演、地元名物の並ぶ物産展、趣向を凝らした分科会など、当日はあいにくの雨でしたが、関係ないとばかりの盛り上がりを見せ、YEGGの熱さをひしひしと感じることができました。



江州よかいち大会 参加メンバー

加古川は来年、このブロック大会の主管地となるため、記念式典では初キヤラバンをさせていただき、加古川をしつかりとアピールしてまいりました。八日市メンバーの想いを受け継ぎ、「ONE HYO GOかこがわ大会」に向けて兵庫県青連・加古川メンバー一丸となって邁進してまいります。
(かこがわ大会 広報部長 山本裕)

女性会

笑い声が詰まったしめ縄リース

「しめ縄リースづくりを実施」

12月9日、女性会メンバー関千咲氏の指導のもと、しめ縄リースづくり体験会が開催されました。自分が作るリースの飾りを選ぶ時から、細やかな配慮で準備された材料に「あれがいい!」「これがいい!」と笑い声が絶えませんでした。「すごくいいリフレッシュの時間」などの会話が聞こえてきて、全員「笑顔と福」満載のしめ縄リースが完成いたしました。



2025年も笑顔で!

不器用な私は「私のしめ縄、バランス悪いなあ」と思いながらも、帰って改めて見直すとよくできている! 何より参加者みんなで大笑いしながら作ったしめ飾りだから、きつと笑顔の一年になる! そんな気がしてワクワクしています。そして、月に一度開催する様々な企画がお互いの事業をよく知る場であることに感謝です。参加者は11名

(監事 伊藤智子)

年末調整のお手伝い
 1 年末調整及び法定資料作成
 についての相談日

重要なお知らせ
 令和7年1月1日より、全国の税務署で「申告書等への收受日付印の押なつ」が廃止されます。
 詳しくは、同封の「個人事業主の確定申告での留意事項」をご確認ください。

来所される際には、各人の給与明細の判る書類、源泉関係の必要書類（各種控除証明書、年金・健康保険等の金額の判る書類等）を必ずご持参ください。
 法定調書合計表等の税務関係書類に、事業主のマイナンバーを記載する必要があります。
 「源泉所得税の納期の特例の承認に関する申請書」を提出されている方の納期限 **令和7年1月20日(月)**

●日 時 1月8日(水)・16日(木)
 9時30分～16時00分
 ●場 所 加古川商工会議所
 3階相談室
 ●お問い合わせ 指導課
 TEL 079・424・3355

各種検定試験のご案内

第169回 日商簿記検定試験
 (2～3級)
 【試験日】 2月23日(日)
 【申込期間】
 (ネット受付) 1月7日(火)～23日(木)
 (窓口受付) 1月22日(水)～24日(金)
 (受験料) 2級 5,500円
 3級 3,300円

※1級施行なし
 ※インターネット申込の場合、受験料の他に申込手数料として別途680円(税込)を徴収いたします。
印刷物入札

当所より発注する印刷物に関し、競争見積を実施いたします。内容につきましましては、前日にお問い合わせください。(当所会員限定)
 ●日 時 1月22日(水)10時～
 ●場 所 加古川商工会議所
 3階事務所
 ●お問い合わせ 総務管理課
 TEL 079・424・3355

1月の会議所カレンダー

日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
6	月	令和7年 年賀交換会	20	月	新春議員懇談会
8	水	広報委員会、源泉所得税・年末調整に係る相談日	21	火	(無料)金融相談(兵庫県信用保証協会 加古川支所) 異業種交流会 1月度定例会
10	金	(無料)法律相談	22	水	青年部 1月臨時総会・新春懇親会
16	木	源泉所得税・年末調整に係る相談日	27	月	女性会 新春懇親会
17	金	(無料)法律相談	28	火	(無料)不動産相談
【個別経営相談会】		7・8・9・14・15・16・21・22・23日			

●「個別経営相談会」は事前予約が必要です。あらかじめご相談内容をお知らせください。(※)
 ●無料相談は、変更・中止となることがあります。お手数ですが、事前にお問い合わせください。
 ⇒「不動産相談」は当面の間【完全予約制】の【電話相談のみ】となり、1月24日(金)までに予約が必要です。(☆)
 《問い合わせ・予約連絡先》※印:加古川商工会議所 電話079-424-3355
 ☆印:(一社)兵庫県宅地建物取引業協会 加古川支部 電話079-424-0832

商工かこがわ1月号
 発行 2025年1月1日
 発行人 加古川商工会議所
 〒675-0064
 加古川市加古川町溝之口800
 TEL (079)424-3355(代表)
 FAX (079)424-7157

広報委員の“つぶやき”
 謹賀新年
 令和7年(2025年)の干支は、乙巳(きのとみ)で「これまでの努力や準備が実を結び始める時期」とされています。何よりも今年は昭和100年、戦後80年、阪神淡路大震災30年、いろいろ周年が重なる年です。
 今年も頑張りましょう!

「今月の“こんな日”」
 ●タロとジロの日(14日)
 1959年(昭和34年)のこの日、南極大陸で南極観測隊に同行し、前年に置き去りにされた15頭のカラフト犬のうちタロとジロの2頭の生存が確認されたことにちなんで制定。